

「2025日本万国博覧会」の誘致に対する決議

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、兵庫県における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、地域の活性化や住民の生活向上にも寄与することが期待できる。

もともと、大阪湾の人工島・夢洲を国際博覧会の会場とする構想では、IR（カジノ）と関連した取り組みが示されており、IR（カジノ）の課題が指摘され、その課題解決に向けた方策が明らかでない現状では、本市議会は、国際博覧会とIR（カジノ）は、個別に構想すべきものとの見解に立つ。

以上のことから本市議会としては、国際博覧会とIR（カジノ）とは切り離して検討・構想されることを前提に、国際博覧会そのものについては、大阪・関西における開催の意義に賛同するものであり、誘致実現に向けた国内機運の醸成など、必要な取り組みを国、関係自治体、経済界とともに積極的に取り組むこととする。

以上、決議する。

平成30年5月16日

兵庫県明石市議会